

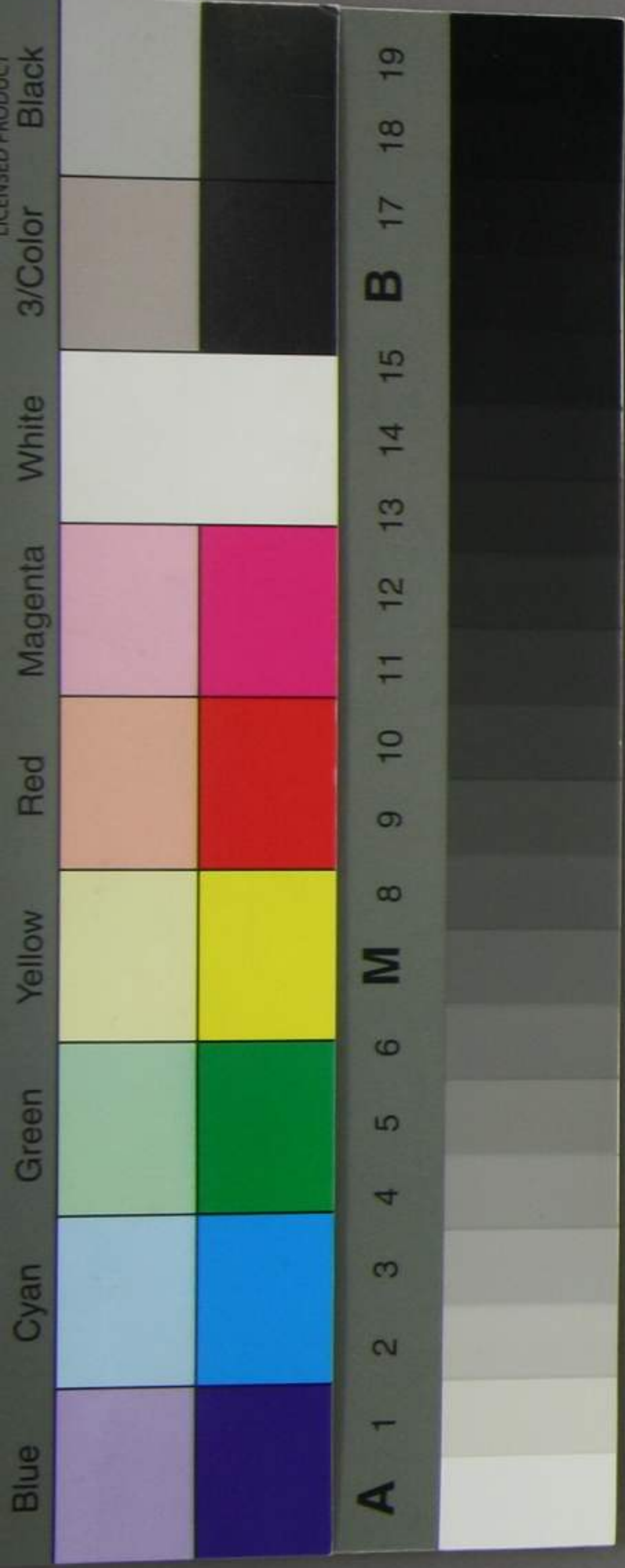
114
A 4259



綱領

一 諸般ノ物品ヲ網羅シテ其性質功用ヲ詳明ニ
 シ衆庶學藝ノ研究ヲ成サシムル事
 一 勅封御物未社寺ノ什器ヲ保護シ兼テ府縣
 設立ノ博物館ヲ保助スル事
 一 上野公園ヲ修繕保存シ來遊者ヲシテ兼テ
 知識ノ開達ヲ誘導スル事

大正十一年四月
大隈侯爵御寄附



大博物館職制

總裁

第一條 博物館一切ノ事務ヲ總提シ學師學務官議員長等ヲ統率シ各其職ヲ盡

サシム

第二條 事務章程ニ照準シ制可ヲ乞フ條件ハ内務卿ニ稟議上奏シ其專行ヲ得ル條ハ便宜處分スルノ権理ヲ有ス

第三條 學師學務官議員長ヨリ具狀スル條件ハ其緩急ヲ審按シ決判措置ノ権

ヲ有ス

第四條 奏任以上ノ進退ハ太政官ニ於テ命
スト雖モ之ヲ黜陟スヘキハ其要旨
ヲ具状シテ命ヲ乞判任以下ハ其能
否ヲ監別シ学師学務官及ヒ議員長
ノ具状ヲ按シ内務卿ニ稟議黜陟ス
第五條 院省使府縣藩ヨリ兼任セシムル者
ハ其本廳ニ帰議シ内務卿ニ稟議黜
陟ス

副總裁

第一條 總裁ヲ補弼贊助シ總裁事故アルト

キハ其事務ヲ代理ス

一等学師 学務官或ハ兼任ス

第一條 二等以下ノ学師ヲ監督シ其黜陟ス
ヘキハ總裁ニ具状ス

第二條 經費監護ニ関スル事務ハ学務官ニ
帰議シ又可議ノ條件アルハ議按ヲ
議員ニ附シテ議セシメ決裁ヲ乞モ
トス

第三條 学藝上ノ著説報告及列名ヲ管掌
ス

二等学師

三等学師

四等学師

学務官或一兼任ス

第一條 一等学師ヲ補翼シ科長ノ任アルモノ

トス一等学師事故アルトキハ二等学師其事務ヲ代理ス

第二條 科中ノ学生学手ヲ監督シ其黜考ス

ハキハ一等学師ニ具状ス

第三條 他ノ院省使ヨリ兼任スルモノト雖

モ館事取扱ニ於テ總裁ニ對シ擔任ノ責ニ任ス

第四條 擔任ノ畢業ト雖モ他科ニ關係スル

モノハ其科長ニ協議辦理ス

第五條 学藝ヲ研究シ学藝上ノ著説及日報

年報ヲ編成ス

第六條 各部内ノ物品ヲ監護シ之ヲシテ滿

足セシムル為メ物品ヲ探索シ購求方等ヲ申稟ス

第七條 各部内ノ列品ニ整頓シ附藏ヲ詳明

ニシテ目錄ヲ編成ス

第八條 上野公園中ニアル所ノ諸学科ニ屬

スル物品ハ其主料ニテ監護ス

一級学生

二級学生

三級學生

一級學手

二級學手

三級學手

四級學手

五級學手

六級學手

第一條 學師ノ指揮ニ從ヒ學藝ヲ研究シ學

藝上ノ著説及月報年報物品目錄ヲ

編纂シ兼テ部内ノ事業ヲ辦理ス

學官補

第一條 學官ヲ補助ス

一 等學務官 學師或ハ兼任ス

第一條 各掛リノ事務ニ付其擔當ノ制限ニ

ヨリ總裁ニ對シテヲ調理スルノ責

ニ任ス

第二條 各掛リヲ監督シ其職務スヘキハ之

ヲ學務官ニ協議シテ總裁ニ具狀ス

第三條 學術上ニ關係スルノ事務ハ學師ニ

協議シ可議條件ハ議按ヲ議員ニ附

シテ議セシメ決裁ヲ乞フモノトス

二等学務官

三等学務官

学師或兼任ス

四等学務官

第一條 一等学務官ヲ補翼シ庶務掛長會計

掛長ノ任アルモハトス一等学務官事

故アルトキハ二等学務官其事務ヲ

代理ス

第二條 掛り中ノ大主事以下玄関門衛給仕

小使ノ勤惰ヲ監督シ其黜陟スヘキ

ハ一等学務官ニ具状ス

第三條 一切ノ庶務ヲ擔當シ議按ヲ尊シ公

文件復等ヲ授掌ス

第四條 本館米文庫公園 和封君庫等ノ監

護ヲ督シ及消防入諸印刷ノユトラ

管掌ス

第五條 一切ノ出納及管繕用度ヲ管掌ス

大主事

権大主事

中主事

権中主事

少主事

権少主事

大掌記

中掌記

少掌記

第一條 學務官ノ指揮ニ從ヒ各自掛ノ事務

ヲ辦理ス

議員長

第一條 議員ヲ監督シ其黜陟スヘキハ學師

學務官ニ帰議シテ總裁ニ具狀ス

第二條 會日論議ノ時會頭トテリ總裁ヨリ

ノ下問或ハ學師學務官ヨリノ議問

又議員ノ意見等ヲ論議セシメ理甲

乙多ニ決スト雖モ理不理ヲ熟慮シ

テ其宜ニ決ス又レノ権ヲ有ス議決ス

ルノ後議按テ總裁ニ呈ス

第三條 平日闔館ノ事業ヲ審按シテ其可督

ハ主務ノ長官ニ告ク又見聞スレ所

ニ於テ可議ハ會日論議ムルモノト

ス

議員

第一條 總裁ヨリノ下問ヲ論議シ吞辨スル

ヲ任トス學務ニ付自己ノ意見見アル

モノハ之ニ集議シテ具狀スルヲ得

内務

第二條 平日ハ学師ヲ補助シ兼テ各自篤志
ノ学藝ヲ研究スルヲ得ル

大博物館事務章程

第一條 本館ハ政府ト人民ト協力保護スルモ
ノニシテ總裁以下ノ委員ハ政府ヨリ
之ヲ命シ經費モ又是ケ年 萬円

第二條 学藝ヲ主トスルニテ学官ト云ヒ庶務
ヲ任トスル之ヲ学務官ト云フ

第三條 各学藝研究ノ為メ質問又ハ書籍物品
ヲ借覽馬圖書ノ為メ來館ヲ望ム者之
ヲ許可スヘシ

但相當謝金ヲ差出サス事モアル
ハシ

第四條 定日開館ノ品ノ來觀ヲ許ス事

但定員ノ謝金ヲ差出サスル事

第五條 總裁以下ノ委員ハ院省使府縣藩ヨリ

モ兼任ヲ特ニ本館主務ノ為メ採用ス

ル委員ハ別紙相當表ニ準ニ階級ト俸

給トヲ授與スルモノトス

第六條 俸給ハ七等官以上年給ハ八等官以下ヲ

月給トシ四等官以下他ヨリ兼任者

ハ其相當俸給ノ數分ヲ給與ス旅費定

額等總テ別冊規則書ニ載ス

第七條 皇族華士族平民ヲ不論有志ニシテ学

藝アルモノハ本館議員ニ命シテ各部

事業ヲ新規改正スルニ當テハ之ヲ

議セシメ兼テ學師ヲ補助ス

但會日ノ外 事業ノ都合ニヨリ出

頭可致事

第八條 本館ヲ廣大ナラシメテ志ニ資本

金中ニ出金スルモノ又學藝ノ助ヲ為

ス為メニ學藝上不可欠稀世貴重物

品等ヲ寄納スル者或ハ議員ニ命シテ

前條ノ如クス

第九條 此ニ條議員中ヨリ皇族華族又ハ學藝

技師ノ者一名ヲ議員長ニ撰挙ス

第十條 議員長又ハ會日ニ當リ事故アリ

テ欠座スルトキハ副總裁又學師學務

官代理スルモノトス

第十一條 本會ハ一月一度ト定メ又臨時可議

ノ條行アルトキハ不時會議ヲ開クヘシ

第十二條 一等學師一等學務官及諸事ニ關係ア

ル學師學務官ハ會日出席シテ意見ヲ述ルモノトス

第十三條 總裁ヨリ下問スル條件ハ其主任ノ者

出席明ホスヘシ

第十四條 議負請願ニ依テハ其職ヲ免スヘシ又

破廉耻等ノ所業アルヲ本館ニ障礙スル者アルハ之ヲ免スヘシ此時ニ於テ

無テ寄納スル品金員アルトモ返還ナサザルヘシ

第十五條 池ヨリ出品アルトキハ各行ニ分別シテ

之ヲ保存スヘシ

第十六條 有志者所持品自製品ヲ寄納スルモノ

アル時ハ之ヲ許可シテ寄納品トシテ保存スヘシ

第十七條 有志者ニシテ全學藝ヲ本館中ニ研究

セン事ヲ望者ハ學官補ニ撰擢シ學師ヲ助ケ所志ノ學藝ヲ研究セシムヘシ

第十八條 年々政府ヨリ下附スル定額金預餘アル

トキハ後年ノ不足ヲ補フモノトシテ本館ニ貯蓄スヘシ

第十九條 本館以入金ヲ寄納金ハ本館ノ資本金

トシテ貯蓄ス又物品購求費ノ不足ヲ

補フモノトス

第二十條 府縣博物館設立ノ意趣ニ寄リ可成之
ヲ助スルハシ 啓ハ本館ノ有餘ヲ以テ
彼ノ不足ヲ補ヒ又該館ノ保護ヲモ助
カシテ廣張セシムル等ノ類乃而該館
ヲ設立スル府縣長次官ノ内一名勸業
係ノ者數名ヲシテ本館ノ事務ヲ兼勤
セシメテ其該館ヲモ監督トサシムル
ハ該館委員ヲシテ本館ノ議員入ハ學
務官及補ヲ兼勤セシムル
第二十一條 府縣官及該館委員ノ本館ニ兼務スル
モノ本館ノ事務ニ関スルノ費用ハ其
實費ヲ本館ヨリ仕拂ハシ該館ニ就テ

ノ費用ハ該廳該館ノ費用トス

第二十二條 本館ノ事務ハ庶務條令ニ從テ處分ス
ト雖モ概目ヲ大分シテ三款下シ其ニ
款ハ制可ラ乞フモノトシ中款ハ内務
卿ニ稟議スルモノトシ下款ハ專行ス
ルモノトス

上款

第一 奏任以上ヲ黜陟スル事
第二 委員ヲ海外ニ派遣スル事
第三 本館休戚ヲ改正スル事
第四 本館委員ノ相當階級及俸給ノ額ヲ改正
スル事

- 第五 本館ノ地位ニ變更スル事
 - 第六 世所ニ支館ヲ設立スル事
 - 第七 褒賞ヲ施行スル事
- 以上七箇條

中 款

- 第一 判任以下ヲ黜陟スル事
- 第二 奏任以下ヲ國內ニ派遣セシムル事
- 第三 議員ノ建議ヲ施行スル事
- 第四 本館並公園等ノ諸規則ヲ改正スル事
- 第五 勅封御物社等ノ汁物ヲ保護スルニ付
人民ニ關係アル事
- 第六 五十円以上ノ手當ヲ下附スル事

- 第七 制可ヲ乞フ條件ヲ稟議スル事
 - 第八 定規アル収入ノ額ヲ改正スル事
 - 第九 本局編成ノ圖書ヲ彫刺發賣スル事
- 以上九箇條

下 款

- 第一 字官補ヲ黜陟スル事
- 第二 雇名義ノ者ヲ黜陟スル事
- 第三 五十円以下ノ手當ヲ下附スル事
- 第四 諸物品ヲ購求スル事
- 第五 寄納金及物品ヲ收入スル事
- 第六 定額金ヲ以テ管轄新築スル事
- 第七 圖書ヲ編製スル事

第八 学藝書ヲ編製スル事

第九 学藝上ノ報告及金或ハ物品ヲ某ヨリ寄

納スル等ヲ新聞紙ニ記載セシムル事

第十 判任以下委員議員等ノ熱涉ヲ新聞紙ニ

記載セシムル事

第十一 学師以下日間ニ往復スル旅行ノ事

以上十一箇條